

令和7年度第3回大正区区政会議

日 時：令和7年12月19日（金）

午後7時00分～午後8時47分

場 所：大正区役所4階藤井組大正区民ホール

○西尾区政企画担当課長

皆さん、こんばんは。定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第3回大正区区政会議を開催させていただきます。

本日は、公私何かと御多用の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の司会を務めます、区政企画担当課長の西尾でございます。どうぞよろしく願いいたします。

午後7時現在、区政会議委員定数14名のうち出席者は12名となっており、委員の2分の1以上の出席がございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項に基づきまして、本会議は有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、大正区長の村田より御挨拶申し上げます。

○村田区長

皆さん、こんばんは。大正区長の村田でございます。本日は、今年度第3回の大正区区政会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。第3回と言いましたが、この体制で行うのは第1回目でございますので、新たに参加される委員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。それと、引き続き参加されている委員の皆様、また引き続きよろしく願いいたします。

この12月になりまして1年を振り返る時期になるんですけれども。この1年、本当に大阪は万博に始まり万博に終わったかなというふうに思っております。皆様の御

協力、御理解のおかげで万博も成功裏に終わったというふうに考えております。この万博の熱気が冷めやらぬうちに、大正区としても来年度以降、より一層元気な大正区のまちづくり、進めてまいりたいなというふうに思いますので、皆様方のお力添え、どうぞよろしく願いいたします。

そのまちづくりを行うに当たっての指針というか考え方になるものが今回お示しさせていただきます。これをいただいております「大正区将来ビジョン2029（素案）」でございます。これまで前の代の委員、前の体制で御議論いただいた、御意見を今回反映しながら素案という形で冊子にさせていただいているところでございますので、また御意見をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

それと、今日は初めての体制でございますので、この区政会議でどんなことをしたい、あんなことしたいということ、また忌憚のない御意見、グループでお話しいただければなというふうに思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

あともう一つ、今回から24区で多分初めてじゃないかと思いますが、託児所付きの区政会議になります。今日はお一方だけですけれど、ほかの皆さんも、お子様を連れてきていただいて結構ですので、よろしく願いいたします。

限られた時間になりますけれども、御議論よろしく願いいたします。本日はありがとうございます。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

では、初めに、このたびの委員改選により10月1日付で区政会議委員に皆様、御就任いただきましたので、御紹介をさせていただきます。お手元、今日お配りした資料をめくっていただいて2枚目ですね。大正区区政会議名簿とありますので、その名簿順にお名前を申し上げますので、恐れ入りますが、その場で御起立いただいて所属団体とお名前など自己紹介をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、公募委員の折田委員、お願いいたします。

○折田委員

公募委員で参加させていただきます、折田です。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

続きまして、公募委員の北方委員でございます。

○北方委員

再度参加させていただきます、北方です。若い人たちの意見を一緒に高齢者の立場として活かせていけたらいいなと思って参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

続いて、公募委員の木幡委員でございます。

○木幡委員

私も2期目になります。公募委員の木幡計器製作所、南恩加島のほうで圧力計の計器製造をしております、住まいは今、平尾のほうに住んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

続いて、大正区地域振興会選出の鷺見委員です。

○鷺見委員

小林地域の連合町会の担当をやっています、鷺見と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今回初めてですので、何もよく分かってないですけど頑張って参加させていただきます。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。それでは、公募委員の土井委員でございます。

○土井委員

土井と申します。よろしくお願いいたします。主人が前年度まで務めておりました土井

隆でございまして、三軒家東で土井商店という町工場を営んでおります。私のほうは小林に住んでまして、一緒に住んでるんですけど。小林が住まいで、子どもの学校は三軒家東、地域の活動としては三軒家西に関わらせていただいております。よろしくお願ひします。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。それでは、公募委員の中島委員です。

○中島委員

こんばんは。中島です。どうぞよろしくお願ひいたします。三軒家西地域になります。住所は泉尾なんですけども。会社員をしてまして、北は北海道から南は沖縄まで大体ホテルに100泊ぐらい泊まっています。だから、実際この地域にどれだけ貢献できるのかちょっと疑問な点があるんですが、精いっぱいやっていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

○西尾区政企画担当課長

公募委員の西林委員です。

○西林委員

改めまして、こんばんは。千島のほうで鉄工所をやっている者です。僕は、二代目、おやじから引き継いで二代目の社長になりますけど10年になりますかね。1年間よろしくお願ひします。

○西尾区政企画担当課長

次の信岡委員は御欠席されておりました。続いて、大正区社会福祉施設連絡会、藤田委員でございます。

○藤田委員

皆様、こんばんは。今御紹介にあずかりました大正区社会福祉施設連絡会から来ております、藤田徹と申します。勤め先は鶴町2丁目にございます特別養護老人ホーム幸楽園でございます。また、近くにお越しの際は立ち寄っていただければ幸いです。

よろしくお願ひいたします。

○西尾区政企画担当課長

大正区地域女性団体協議会選出の丸尾委員でございます。

○丸尾委員

こんばんは。北恩加島の女性会の会長をさせていただいております丸尾と申します。初めてですので、何も分からないんですけど、皆さん、よろしくお願ひいたします。

○西尾区政企画担当課長

続きまして、社会福祉法人、大阪市大正区社会福祉協議会選出の安井委員です。

○安井委員

こんばんは。皆さん、またよろしくお願ひしたいと思います。安井です。うちは家内工業で、僕と息子二人で木工所をしておりますので、また何か縁があるかと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。大正区PTA協議会選出の山崎委員です。

○山崎委員

皆様、こんばんは。大正区PTA協議会から山崎です。よろしくお願ひします。住まいは小林です。私も前期から引き続き2期目となりますので、またよろしくお願ひします。以上です。

○西尾区政企画担当課長

続きまして、大正区地域まちづくり実行委員会、湯浅委員です。

○湯浅委員

三軒家東、湯浅です。三軒家東、社協とまちづくりをさせていただいております。私も初めての参加となります。よろしくお願ひします。

○西尾区政企画担当課長

大変失礼いたしました。公募委員の山本委員でございます。

○山本委員

皆様、お疲れさまです。公募委員で初めて就任させていただきました、山本健登です。私は大正区内で2教室個別指導学習塾を運営しております、地域の活動等も最近いろいろと参加させていただいています。保健福祉課の方たちとはいろいろ今連携してやっていただけてますので、その区政会議のほうでもいろいろ発言させていただければと思います。よろしく願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。そして、大変失礼いたしました。

次に、区政会議の議論をより実りあるものにするため、オブザーバーに御出席いただいておりますので、御紹介させていただきます。

出雲市議員でございます。

○出雲市議員

皆さん、こんばんは。どうぞよろしく願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

小山市議員でございます。

○小山市議員

こんばんは。いつもお世話になっております。よろしく願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

そして、金城府議会議員と川岡府議会議員におかれましては、公務により御欠席と伺っております。

続きまして、区役所側の出席者を御紹介いたします。区長の村田でございます。

○村田区長

改めまして、大正区長の村田です。どうぞよろしく願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

副区長の北吉です。

○北吉副区長

北吉です。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

総務課長の嶋原です。

○嶋原総務課長

嶋原です。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

地域協働課長の細川です。

○細川地域協働課長

細川です。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

防災・防犯担当課長の楠本です。

○楠本防災・防犯担当課長

楠本です。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

窓口サービス課長の永田です。

○永田窓口サービス課長

永田です。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

保健福祉課長の貴志です。

○貴志保健福祉課長

貴志です。どうぞよろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

こども・教育担当課長の前田です。

○前田こども・教育担当課長

前田です。よろしく申し上げます。

○西尾区政企画担当課長

生活支援担当課長の三宅です。

○三宅生活支援担当課長

三宅です。よろしく申し上げます。

○西尾区政企画担当課長

事務局につきましては、私、区政企画担当課長の西尾と、総務企画担当課長代理の田島です。

○田島総務企画担当課長代理

よろしくお願いたします。

○西尾区政企画担当課長

担当係長の森内です。

○森内担当係長

よろしくお願いたします。

○西尾区政企画担当課長

係員の山本です。

○山本係員

山本です。よろしく申し上げます。

○西尾区政企画担当課長

どうぞよろしくお願いたします。

それでは、次に、会議の進行につきましては、お手元の配付の資料、並びにあらかじめお送りさせていただきました資料を基に進めさせていただきます。

議題に入ります前に、その都度資料の確認をさせていただきますが、事前にお送りさせていただいた資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、予備がございますのでお申しつけいただきますでしょうか。

それでは、次に、本日の会議は全て公開とさせていただきます。本日撮影させていただきました動画や写真、会議録等は、後日、区のホームページ等で公開させていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。

そして、本日はメディアからの取材申入れもあり、メディアによる録音や撮影がありますので、こちらにつきましても御了承いただきますようお願いいたします。

それでは、議題に先立ちまして、議長、副議長の選出について、お諮りいたします。

区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第1項の規定に基づき、委員の皆様の互選により議長及び副議長を選任いただきたいと思います。

まず、議長の選任について、皆様の御意見をお伺いします。どなたか御自分になりたい、もしくは推薦したいという方がおられましたらお願いできますでしょうか。

○中島委員

私、木幡さんをぜひ推薦したいですが、どうぞよろしくお願ひしたいです。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。ただいま、中島委員から木幡委員への御推薦がありました。皆さん、いかがでしょうか。木幡委員、いかがでしょうか。

○木幡委員

御指名いただきましたので、お受けできればと思います。

○西尾区政企画担当課長

皆様も異議ないでしょうか。よろしいでしょうか。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。それでは、木幡委員、よろしくお願ひいたします。

続いて、副議長の選任について、皆様の御意見を伺います。どなたか御意見はございますでしょうか。どうぞ。

○山崎委員

山崎です。副議長は中島委員がいいかと思えます。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。ただいま、山崎委員より中島委員を御推薦がありましたが、皆さん、いかがでしょうか。中島委員、よろしいですか。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。それでは、中島委員に副議長に御就任いただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、木幡議長と中島副議長には、誠に恐れ入りますが議長席、副議長席が前にございますので、お移りいただきますように、よろしく願いいたします。

(議長、副議長 席へ移動)

○西尾区政企画担当課長

それでは、改めまして、議長、副議長より御挨拶をいただきたいと思えますので。まず、木幡議長、御挨拶をよろしく願いいたします。

○木幡議長

ただいま選出をいただきました木幡巖と申します。大正区は、実は今平尾に住んでおるんですけど、まだ区民としては新しい区民でございますが、もともと家業でありました計器製造の工場のほうは戦前から大正区にございまして、もうほぼ100年近くこの地で仕事をさせていただいております。

私は、大正区でものづくり事業というのがもうかれこれ15年近くなりますけども、そちらのほうに1回目から参画させていただきまして、3年目から実行委員長を8年間務めさせていただきました。そういうことで、個人的にも大正区には長く関わらせていただいて、本当にこのまちがよくなってほしいという思いを非常に強く持っておりますので、皆さんとこの会議体をうまく進行できるように僭越ながら努めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、中島副議長、御挨拶をよろしくお願いいたします。

○中島副議長

皆さん、こんばんは。改めまして、中島と申します。先ほども申しましたように三軒家西の地域からやってまいりました。私、先ほど木幡さんもおっしゃったんですけど、私、大体8年ぐらいしかこの大正というところに住んでないんです。ただ、それまでは西区と浪速区で生まれ育ったもので、当時からの大正というところの方とのお付き合いがありました。いろんなことがあって、七、八年前にこの大正に流れ着いたときに、この区役所の方に非常に実はお世話になったんです。そういった思いもあるのと。それから、当時家内と住んでいた千歳の渡しの近くに私、住んでまして、その風景が物すごく夕日がきれいで、こんなところが大阪にあるんだというふうに感じたのを覚えています。

それ以来、地域の何か役に立てないかなという思いでいろいろと活動をしてまいりましたが、このたびは区政会議の副議長ということで2年間、よろしくお願いいたします。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。ここからは、議事進行を木幡議長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○木幡議長

それでは、議題1、大正区将来ビジョン2029（素案）について、説明を区役所からお願いしたいと思います。

○西尾区政企画担当課長

それでは、議題1について御説明いたします。事前に送付させてもらっております書類番号1というものです。大正区将来ビジョン2029（素案）概要版、ございますでしょうか。それと、書類番号2、大正区将来ビジョン2029（素案）ホッチキスどめのものです。それと、書類番号3、大正区将来ビジョン2029（素案）第2回区政会議でいただいたご意見を受けて修正を行った箇所、そして、今日お渡しした書類番号6、横長のA3のものです。区政会議委員からの事前質問、意見に対する回答でございます。これを御準備いただけますでしょうか。

それでは、大正区将来ビジョンは、大正区のまちづくりの基礎となる計画であり、大正区が抱える様々な課題に対し、どのように対応しどのような大正区をめざすべきか、区民の方に明らかにするものです。

現在の大正区将来ビジョン2025については、計画期間は2025年度、今年度までとしていることから、新たに2026年度、令和8年度から中長期を目途とした将来ビジョン2029を策定する必要があります。これまでも、区政会議では骨子案について内容を御確認いただき、御意見を伺いました。そして、大正区将来ビジョン2029（素案）では、いただいた御意見を反映するとともに、区の概要や計画策定の基本的方向性を追加していますので御議論をお願いいたします。

この素案につきましては、現在、パブリックコメントを実施し、区民の皆様から広く御意見を頂戴しております。パブリックコメント及び今回の区政会議の意見を踏まえまして将来ビジョンの案を作成し、2月の区政会議にて案を御覧いただき、さらに御意見を反映した上で令和8年4月に策定を予定しております。

資料につきましては、事前に御確認いただき事前質問もいただいておりますので、こちらについては、事前質問への回答について担当課より御説明させていただきます。

議題1に関わる信岡委員及び土井委員からの事前質問への御説明ですので、よろしくをお願いいたします。書類番号6のA3の横長のやつですね。それを御覧いただけ

ますでしょうか。

○楠本防災・防犯担当課長

では、私から、まず1つ目の番号1—1の信岡委員様から御質問いただいた件について、御説明させていただきます。申し遅れました、防災・防犯担当課長の楠本と申します。

区政会議の委員意見のところに書いてある信岡委員様の御質問、書いてあるとおりですけれども読ませていただきます。

「地域自主防災組織の災害対応力の強化とありますが、地域によっては個人情報保護のため、名簿を作成していない。町会に入っていない方は、家族構成など全く分からない状況でもあります。警察は各家庭の情報を持っているので、連携が必要と思います。」という御意見を頂戴しておりました。ありがとうございます。

回答なんですけれども、各地域で推進していただいている日頃の見守り活動は、災害時において地域の支え合い、助け合いにもつながる重要な取組と思っております。区役所としましては、町会に加入されている、されていないにかかわらず、介護度の高い方など支援が必要と考えられる方を抽出しまして「要支援者名簿」というのをつくっております。それを、各地域などにお渡ししております。その名簿には、各地域の日頃の見守り活動によって蓄積されてきた情報が反映されて、地域の実情に応じた名簿の整備をお願いしているというところです。こうした取組が円滑に進められるよう、私どもも引き続き地域と密に連携してまいりたいと考えております。

御意見にありました、警察との名簿連携についてなんですけれども、個人情報保護の観点からやはり警察組織との名簿連携についてはちょっと難しい部分がございます。

でも、一方、災害などの緊急時、災害が発生した場合については、警察や消防、それから自衛隊など関係機関と連携していくという動きになります。速やかな支援と対応ができる体制の強化に日頃から努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○前田こども・教育担当課長

こども教育担当課長をしております前田です。よろしくお願いいたします。

私からは、信岡委員からいただいている1-2の御質問でございます。内容につきましては、小中学校の不登校児童生徒に対する支援をフリースクールに任せずに、小中学校を利用した別室指導の取組などを考えていただきたいという御意見をいただきました。

これに対する回答でございますが、不登校児童生徒に対する多様な教育の機会の確保としまして、各小中学校におきましては、教室以外の部屋に登校する別室登校支援や、スクールカウンセラーによる相談、家庭訪問など多様な支援を行っておりますが、教員の不足などにより安定した別室登校支援の継続が難しい場合もございます。このような課題を解消するため、日常的かつ安定した別室登校支援を実現するために、スペシャルサポートルームをモデル校に設置し、不登校への支援の充実を図っているところでございます。

大正区では、小学校（1校）内に同スペシャルサポートルームを設置しモデル校として運営しているところでございます。今後も、様々な施策により重点的に不登校児童生徒の支援に取り組んでまいりたいと考えております。

また、不登校支援の施策につきましては3ページに記載しております。簡単にご説明しますと、例えば、こどもサポートネット事業、そして次の学習・登校サポート事業、これは区独自の取組として実施している事業でございます。特に、不登校等により学習機会が減少した児童生徒を対象に、学校や家庭でサポート・支援するものでございます。また、中学生に対しましては、区役所内に第3の居場所となるスペースを設置しまして、一人一人の実情に応じた形で支援しているところでございます。

私からの説明は以上でございます。

○楠本防災・防犯担当課長

続きまして、防災・防犯担当課長の楠本です。1－3の土井委員からの意見です。

「フェーズフリー、平時からの備えが重要ということに同意します。この考え方を広めるために施策としてはどこにつながるのでしょうか。①の防災訓練、②の地域防災の向上、文面から読み取ると自助ではなく扶助の部分かと思いましたが、例を挙げて説明していただけるとありがたいです。」という御質問をいただきました。ありがとうございます。

回答ですがフェーズフリーというのは、災害へのスムーズな対応や協力体制の強化につなげる、平時から垣根をなくして日頃の活動の中で行っていくという考え方です。自主防災組織を対象とした防災訓練や研修の実施、それから地域団体や企業などの連携の中でフェーズフリーの考え方を共有して、地域防災力の向上につなげていきたいと考えております。

日頃の活動や業務の中でフェーズフリーを意識して防災の視点を加えることで、災害へのスムーズな対応や関係機関との協力体制の強化につながるよう、日頃から地域団体や企業の皆様と一緒に取組について考え、共有できればと考えております。

以上です。

○前田こども・教育担当課長

続きまして、土井委員の1－4の御意見でございます。

内容につきましては、大正区版ネウボラはどのような方法で切れ目のない支援を実現しようとしているのか、具体的に説明してほしいというものでございますが、回答につきましては、大正区では、「大正区版ネウボラ」としまして、妊娠期から中学生まで切れ目なく必要なサポートへアクセスできる支援体制を整えております。例えば、妊娠期から乳幼児時期は、地域ごとに各担当保健師が相談窓口となり、子育てに関する疑問や不安に継続的に対応しております。また、家庭児童相談員、保育士による福祉相談や、子育てコンシェルジュによる情報発信も行っております。

また、大正区独自の取組としまして、3歳児健診から就学児健診までの間に当たる

4・5歳児を対象に、保育所、幼稚園を訪問して健康や生活状況を独自に把握し支援につなげる「就学前こどもサポートネット事業」を展開しております。小中学生には、「こどもサポートネット事業」により、区役所と学校が連携し、課題を抱えるこどもや世帯を早期に発見し、必要な支援につなげているところでございます。

また、大正区版ネウボラのイメージ図も4ページにつけておりますので、また御覧いただきたいと思えます。

私からの説明は以上でございます。

○西尾区政企画担当課長

続きまして、3ページ、1-5、土井委員からの、「大正区は工場が多く都市部で緑も少ない環境負荷が高いと思うのですが、環境についての取組は4つの柱に含まれていますか。」という御質問でございます。

この将来像の4つの柱には環境問題に特化している取組は記載していませんけれども、持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの理念を踏まえて、引き続き区民の皆様にSDGsの理念や活動事例の紹介を行いながら、環境に配慮したまちづくりにつなげてまいりたいと思えます。

参考として、大正区は緑が実をいうと多いんですね。24区中、面積でいうと12番、人口1人辺りで、人口が少ないというのはございますけれども、24区中5番目に多いということですので、一応参考資料として付けさせていただきました。

以上でございます。

○細川地域協働課長

地域協働課長の細川でございます。2-1です。土井委員からいただいた御意見です。「企業が地域に向けて、また区民の中でも小中学生や子育て世帯の親がチャレンジしてみたいと思えるような支援や仕組みがあればいいのでは。」という御意見でございます。

チャレンジされる個人・団体等の方々への支援については、「将来ビジョン202

9」の根幹をなす理念でございまして、これまでも取り組んでおります公民連携事業をはじめ、企業や地域の皆様の御意見、さらにはこの会議、グループ討議で議論いただいた内容を踏まえまして、これからも従来の枠にとらわれることなく柔軟かつ積極的に支援してまいりたいと考えております。

続きまして、3-1、土井委員からの御意見でございます。人権に関する御意見でございます。差別の意識、潜在的な意識が生まれるのは、生まれる前、乳幼児期への取組が重要なんじゃないか、包括的性教育を幼児期から、大人に対しては自分の中の価値観が差別につながっていると気づくところから始めないと、みんな気づいていないようなこともあるかと思うという御意見です。

いただいた御意見のように、こどもの頃から異なる背景や価値観を認識することは重要でございまして、一人ひとりの個性や生き方を尊重する心を育てていくことが大切だと考えております。

「異和共生」という言葉がありますが、「異なっただま、和やかに、共に生きる」状態を表したものでして、この考え方は、異なる文化や個性を無理に同じにするのではなく、違いを認め合い、穏やかに共生することで新たな魅力や価値を生み出すまちづくりをめざすものでして、この基本理念に基づきまして大正区ならではのまちづくりをこれからも推進してまいりたいと考えております。

○西尾区政企画担当課長

続きまして、土井委員の質問でございます。4つの柱でありながら、3Dにしてみるとつながっていることもあるのではないかと、柱同士協力しながら実現するイメージを持っているので、そういったことをもっと分かりやすく図式化してほしいということでございますので、関係する取組について、横断的に協力し、より魅力的なまちへと成長することを目指してまいりますので、図式化につきましては、より区民に分かりやすいものにさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○木幡議長

ありがとうございました。事前質問、意見に関する御回答、ありがとうございます。

それでは、将来ビジョン2029（素案）について、委員の皆様から御意見を伺いたいと思います。ただいま、区役所から説明のありました大正区将来ビジョン2029（素案）について、何か御質問、御意見などはございませんでしょうか。

藤田委員、どうぞよろしくお願ひいたします。

○藤田委員

意見じゃないんですが、今書類番号6の1-1の警察は各家庭の情報を持っているというのは、すみません、私、始めて知りまして。これ、どこからその情報を入手しているのか。区役所との連携ができないのはなぜできないか。もちろん個人情報のこともありますけど、警察は警察で何らかの形でどこからか名簿を入手するというその仕組みがよく分からないんですが、どなたか説明をお願いします。

○木幡議長

ただいまの御質問につきまして。

○楠本防災・防犯担当課長

先ほどお答えさせていただきました防災・防犯担当課長の楠本と申します。

この回答に書かせていただいています警察との名簿連携についてなんですけれども、警察のほうでどのような名簿を持っているかなどといった情報は、行政側に情報提供がありませんので、その辺りも分かりませんという御回答になります。申し訳ございません。

○木幡議長

よろしいでしょうか。

○藤田委員

区政会議委員の意見の信岡委員の意見で、警察は各家庭の情報を持っているとおっしゃっていましたので、この発信源が。

何か言いたいかと言ったら、結局は名簿は必要だと思うんですね。名簿があって、どこにどういった方々がおられるか、要介護の方がおられたりとかそういったことの把握を区役所はすべきかなと思っています。また、民生委員さんなんかと情報を交換しながら、災害があったりとか、例えば火事があったときに、あの近くに要介護の方で逃げ遅れるかもしれないからということで避難誘導とか、そういったことが地域でできるような体制というの也有着いていいのかなと思ったので質問いたしました。

以上です。

○木幡議長

ありがとうございます。ほか、山崎委員、よろしくお願いします。

○山崎委員

大正区PTA協議会山崎です。

資料番号6の土井委員の質問の中で、人権尊重のまちづくりというのがあったんですけれども。実際、今、小学校、中学校にかかわらずいろんな国の子どもたちが通っていると思うんです。今現在、僕のところに相談されているんですけれども、やっぱり知らずに人権差別用語を言ってしまうという子どもが非常に多く、学校側もそういう対応もしているんでしょうけれども、どうしても後手後手に回ってしまっている状況になっているところです。

やっぱり増えていると思うんです、外国籍の方々が。そこで必要になってくるのは、いろんな国の文化というのを尊重し合う、分かる知識として取り入れるという授業が1枠、2枠必要なんじゃないかなって思うところではあります。

ここで言っても仕方がないのかもしれないんですけども、区役所のほうからも一つ学校側のほうに何かできる手が一つでもあるのであれば、子どもたちが傷つかないように、傷つけないようにしていただければなと思います。

私からは以上です。

○木幡議長

ありがとうございます。今の意見、区役所のほうからいかがですか。

○前田こども・教育担当課長

こども・教育担当課長の前田です。

今、山崎委員がおっしゃっていただいた内容につきましては、小学校、中学校にもお伝えしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○木幡議長

ありがとうございます。いかがでしょうか、ほか。御意見、御質問がおありの方。

土井委員、よろしくをお願いします。

○土井委員

初めて将来ビジョンを目にしたので、すごい質問だらけにしてしまってすみませんでした。いろいろ御回答を丁寧にあらかじめいただきましてありがとうございます。

私から、先ほど人権のお話、山崎委員がしてくださったみたいに、授業、大事やと思いました。三軒家東でうちの子が通っている学校なんですけれども、PTAの方が外部講師を呼んでいただいて包括的性教育の授業を5・6年生にしていたいただいたのを拝見したんですが、とてもいい授業で、これは低学年の頃からこういうことに触れるといいなというのはすごく感じました。それは意見なんですけれども。

もう一つ、私の質問の中でネウボラの話があったと思うんですけれども。私の中でネウボラは個々につながっていくというイメージがあったんですけれども、大正区版ネウボラというのは、全員とつながるわけではなく、より手だてが必要そうな親子さんを早期発見して、その手だてが必要そうな親子さんを見逃さずつながり続けていくというイメージでよろしいでしょうか。

○前田こども・教育担当課長

こども・教育担当課長、前田です。

今御質問がございました大正区版ネウボラの趣旨でございますが、今土井委員がおっしゃっていただいたように、個々というよりも切れ目のない支援を実施していくと

いう側面がございます。

繰り返しの説明になりますが、切れ目のない支援のところでは、大正区としましては、3歳児の健診から就学前の健診のあたりについては、現行制度では4・5歳児のこどもの状況が他の年齢と比較し把握しにくい部分がございますので、大正区の独自の取組としまして4・5歳児に着目して、しっかりとこどもたちの状況を把握するために就学前サポートネット事業、こういった事業を実施することで妊娠期から中学生まで切れ目のない支援をしていくというものが「大正区版ネウボラ」で実施しているものでございます。

○村田区長

大正区長、村田です。

今の補足なんですけれども。実は大正区ってこどもの数が毎年お生まれになる数が300人ぐらいなんですよ。300人は全員把握してます。母子手帳をもらうときから、それから健診、6か月、1歳半、3歳、それから小学校に入るとき就学児健診がございますので、それも全部把握しております。それから、小学校に入ったら小学校のほうで全て把握しています。

ただ、今、前田が申し上げたとおり、4・5歳児についてはその把握がなかったので、そこについても全て把握するようにしています。そこで課題があった方を抽出して、将来社会的自立ができるような取組というかフォロー、支援というのをしている。それが全体の流れでございます。

○土井委員

ありがとうございます。4・5歳は何年か前までは途切れていたということなんですよね、逆に言えば。その何年かでこどもサポート事業で何か成果というか、ありましたでしょうか。

○前田こども・教育担当課長

こども・教育担当の前田です。

4・5歳児の状況を見ることによって分かったことは、保育所・幼稚園等を訪問し、こどもたちの健康状況や生活状況を把握している中で、発達課題が多く見られます。

発達課題がみられるこどもたちについて適切な支援につなげていくことも可能となりました。

○北吉副区長

この4・5歳児の切れ目ない支援をするためのこどもサポートネット事業ですけれども、大体区独自で予算を約1,000万弱確保して2人の職員をそれにあてているというものです。

成果というか、事業の意義としては、3歳児までは3歳児健診までの段階で把握している情報をそのまま4・5歳児こどもサポートネットに情報を引き継げるということと、5歳児の情報も6歳以降の情報の把握に引き継げるという点で切れ目のない支援ができるというのが一番大きいと思っています。

○土井委員

ありがとうございました。もう1個だけ、いいですか。すみません。

自主防災組織という言葉が出てきたんですけども、大正区の自主防災組織ってどのくらいあるのでしょうか。全然、私、知らなくて。

○木幡議長

お願いします。

○楠本防災・防犯担当課長

防災・防犯担当課長の楠本です。

自主防災組織というのは、各地域で組織しているものでございますので、今大正区は10地域ございますので、10個になります。

○土井委員

そしたら、防災訓練を小学校とかで実施していただいている皆様が自主防災組織ということですか。

○楠本防災・防犯担当課長

防災訓練の際は防災リーダーさんが中心になってやってくださっていると思います。

例えば三軒家東の地域でしたら、先日も小学校のほうで実施されたと思いますが、防災リーダーさんが中心になって活動をしていらっしゃるということになります。

○木幡議長

区長どうぞ。

○村田区長

実を言いますと、自主防災組織のトップの方がお隣にいらっしゃいます。小林地域の。各地域の本部長、10地域に本部長が、災害対策本部長というのがいらっしゃいまして、小林地域においては鷺見会長が本部長になってございます。それから、その本部長の指示の下、防災リーダーというのが各10地域にございます。例えば三軒家西地域の防災リーダーの隊長は、その前に座ってはる安井委員ということで。実は身近にいらっしゃいますので。あと、例えば丸尾委員などは、一緒に地域の防災で訓練のときに一緒になって活躍していただいています。そういう組織がございます。

○土井委員

ありがとうございます。知らないことばかりですみません。そしたら、その自主防災組織の地域の方々と、地域の団体とか企業とかを巻き込んで連携してフェーズフリーという形を整えていくということですか。

○楠本防災・防犯担当課長

私のほうからお答えさせていただきます。

ここで書かせていただいているのは、まず今申し上げました自主防災組織、地域の方々と、あと企業ですとか病院ですとか、日頃から、例えば訓練を一緒にするとか、あと避難所は小学校に設けることになるんですけども、福祉避難所はどうするのかとか、津波がきたときの津波避難ビルとか、災害が起きた後の医療はどうするのかと

か、いろいろなフェーズ、地震が起きたとき、津波が来たとき、それから津波が引いて家屋が潰れてしまって小学校に皆さんが避難してくる、というようにいろんなパターンがあります。それぞれやはり地域だけ、行政だけ、では成り立たないという事態になります。そういったときに、地元の企業の方や、医療機関、各施設とか、そういったところと連携するということは急にはできませんので、あらかじめ協定をつくっておく、またはマニュアルをつくっておく、ということを用意しておくというのが大切なことだと思います。

そういうことでフェーズフリーという書き方をさせていただいています。自助・共助・公助というのは御存じだと思いますけれども、自助としては、あらかじめ日頃から家庭で避難物資をそろえておく、ローリングストックしていく、というのがあります。共助・公助の取組としても、日頃からそういった訓練や連携を密にしておくというのが大切なことですので、今回そのようなビジョンにしております。

○土井委員

ありがとうございます。この前、北海道のほうで地震があったときに夜やったんですけど、津波避難ビルというのがここにあるというのは分かってたんですけど、この夜中に行って開いているのかどうかというのは分からないなと思って。そういうものもいろんなフェーズで起こり得るものなので、災害は。ちょっと避難するときに、ここやったら平日やったら開いてるとか、土日祝は閉まっているとか、そういう一般の企業さんとか、保育園とか、介護老人保健施設とかも入っていたと思うので、津波避難ビルに。そういう情報もシェアをしていただけたらありがたいと思います。

以上です。

○木幡議長

ありがとうございます。大変活発な御意見、御質問をいただきまして。

北方さん、もし時間的に。もうお一方、どうぞ。

○北方委員

今ずっと聞いていた中で、私も土井委員も質問されたけど知らなかったこととか、私自身も知らなかったことがすごくたくさんあるんですね。何か起きたときにこうしようっていうんじゃなくて、やっぱり何か起きる前にせなあかんというのは、前回のときもそういう話があったと思うんですね。高校なんかがどんどん大正区からなくなってきて高い建物がなくなってきた。そしたら、私たちは今度どこへ逃げていったらいいのかという、みんな不安というのはすごいお持ちになってるんですね。

それで、今、土井委員が夜やったら開いてるのかという不安。本当に具体的に不安というのがいっぱい、年寄りがたくさんいる大正区っていう課題がある中で見えてない部分がすごくあるなと思って、不安材料が多いなというのを感じました。

○北吉副区長

津波避難の施設の避難可能時間ですけれども、大正区のホームページにも地域ごとの津波避難マップ掲載してはまして、津波避難施設については、避難可能時間が24時間なのか、午前9時から午後5時かとか、施設ごとに書いてはいるんですけれども、周知などの課題もあると思っておりますので、その辺りは今後とも検討したいと思います。

○木幡議長

北方さん、どうぞ。

○北方委員

この間、社協できらめきパーティーというのがあったんですね。それで、私はたまたまボランティアをやったからそこで関わったんですけれども。大正区版に書いてあったんですね。でも、知らん人、たくさんおったんですよ。ほんで、前回のときにどういう感じでみんなに知らせていこうかという話題になったときに、スマホとかそういうアプリのあれでやっていこう。もちろん若い人はそれでいけるけど、年寄りが多い大正区でどういう具合にそれを知っていくか。そして、大正区版も案外読んでない人が多かったんですよ。私、そういう方に耳に入って、きらめきパーティーなん

か知らなかったわっていう方、たくさんいらっしゃったんですよ。たったそのパーティーだけでもそういうことやから、危険なことっていうのをもっとみんなが知っていく形をどういうふうにやっていくかというのは大きな課題だと思うんですね。

○村田区長

北方委員、いつもありがとうございます。確かに、情報を我々、きらめきパーティーだけじゃなしに、例えばものづくりの取組、これだけやってますとか、福祉の取組、これだけやってます、地域で防災訓練、これだけやってますということを広報誌なりホームページ、あちこち僕ら、考えられるありとあらゆることはさせてもうてますけども。大正区、人口5万9,000人いてるんですね。こどもたち、小さい子らもいてるんで5万9,000人に周知する必要があるかどうかはまた別なんですけれども。

やはり我々も、はっきり言って限界がございます。ですので、地域の皆さん、先ほど言いましたような地域の防災、自主防災組織の皆さん、地域のまちづくり実行委員会の皆さん、女性会の皆さん、青指の皆さん、PTAの皆さん、一緒になってこういうことをやってますよというのを知っていただく取組、できたらなと思ってますし。こういう場所で知識としてもしインプットされましたら、またお知り合いの方にこんなだよというのを教えていただければありがたいかなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

我々もいろいろどうやったら伝えることができるか、伝えやすくなるか、伝わりやすくなるかというのは当然勉強してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○木幡議長

ありがとうございます。本当に活発な御意見、御質問をいただきまして、この区政会議、非常に有意義なものになっているように感じます。私も2期目ですけれども、今日初めて知ることも多かったですし、本当にそういう意味では地域に関わられている皆さんがこの区政会議自身がそういうことを情報交換できて、そういった情報が広

がる場になるのではないかなと思って、私、すごく今の皆さんの議論、貴重に聞かせていただいたところでございます。

時間の関係もございますので、そうしましたら、一旦この議題1は終了させていただきまして。御発言できなかった方は御意見シートがございますので、そちらの御提出をお願いしたいと思います。それでは、今後の意見を区政運営にも生かしていただきたいと思えます。

次の議事に移りたいと思えます。議題2、区政会議に期待していることや話し合いたいことということで、区役所からグループ討議を前回からさせていただいていますが、今ちょっとなかなか発言し切れなかった方も、こちらのグループ討議でぜひとも御意見を賜りたいと思えます。

それでは、グループ討議の説明を区役所からお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

それでは、議題について御説明させていただきます。書類番号4番ですね。事前にお配りしている書類番号4ということで、大正区区政会議グループ討議資料ということでございます。

テーマ、何度も説明させてもらっていますけれども、区政会議に期待していることや話し合いたいことについてということで、進め方については、今お座りのお席、2グループに分かれて進めていきたいと思えます。

まず、1つ目、ワークシートの1番の区政会議委員として参加してみようと思ったきっかけですね。大正区をよくするため、自分自身が関わっていることや挑戦してみたいことなどもお聞かせいただいたらいいと思えます。

それで、2番としまして、区政会議に期待していることや話し合いたいこと。こんなことがあったらええよねとか、先ほどの情報交換とか、こんなことを私、したいねん、議論したいねんというのがありましたら書いていただきたいと思います。

それでは、下のタイムスケジュールのとおり進めていきたいと思えます。まずは、

今まで御自宅で書いていただいたと思いますけれども、ちょっとお時間を取りますので、書いていない方は書いていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、今からグループ討議に入らせていただこうと思いますので、議長、そして副議長、区役所職員はテーブルのほうに移動をお願いいたします。

〈グループ討議〉

〈グループ発表〉

○西尾区政企画担当課長

皆さん、それでは最後の発表に移りますが、よろしいでしょうか。

それでは、こちらの班から発表していただいてもいいですか。約3分間で。2分でもいいですよ。

○土井委員

ちょっといろんな話が出てすごい盛り上がりました。

キーワードとしては、「防災」の話と、あと「高齢者」をネガティブに捉えるんじゃないくてポテンシャルが絶対あるからどう生かしましょうかという話とか。あとは、「情報」ですね。情報の伝え方。発信は区役所の皆さんがおっしゃっていたみたいに発信してくださっている、じゃあ、私たちは受け止めてそれをどうやって伝えていったらいいのか、伝え方、伝達の仕方というのも考えていきたいなと言っておりました。

すごく私が印象に残ったのは、やっぱり縦はしっかり連携できているんだと思うんですよ。縦割りというか、こどもの面、福祉の面とか。でも、やっぱりそれを「横串」言っていました。横串を刺していきたいと。横の連携をどんどんしていきたいなということになりました。

それは、大正区の区役所の中だけではなくて、地域の中でも10地域ある地域が横串を刺すようにみんなで連携し合って、人が足りないところを補い合ったりすることができる。もうされているんですけどね、小林地域の防災訓練では。そういうことは、

もっとどんどんしていきたいなということと。

あと、もう一つは、小学校の授業などで福祉ですね。福祉の授業に取り組んでおられる小学校もいるんですけれども、小学校がたくさんある中で、この学校だけやっているみたいなことではなくて、もっと大正区全域で福祉に関する情操教育が浸透していけばいろんなことにつながるだろう。すみません、こんな曖昧な発表で。という、私もそれは同意見です。人権にもつながると思いますし。

小学校が統合して行ってなくなっていくますよね。高校もとうとうなくなるという話で。そういうことからしても、この大正区に住みたいという人をどうイメージをつくっていくかっていうのは、やっぱり地域の皆さんがチーム大正として楽しくこんな活動をしていますよで盛り上げていくしかないかなと言っています。

その廃校も利用価値があるということでのいろんな御意見をいただいたんですけれども。外国籍の方がたくさんいらっしゃるの、そういう方々との交流の場に使うこともできますし、廃校の利用の仕方、1個しか出ませんでしたかね。ごめんなさい、何か補足ないですか。そういうのも出てきました。

あともう一つ、商店街、ちょっと元気ないですねという話。あかんって、本当に商店を元気にしていくことが、やっぱりまちの人との交流、日常生活で物を買うとなつて交流しながら物を買える商店街ってすごく私、大好きなんですけども。そういう商店を支えていきたいな。それは、企業の側からも何かできるかなと木幡さんもおっしゃっていました。

以上です。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。それでは、こちらの班はどなたが。

○山崎委員

お疲れさまです、山崎です。土井さん、すごい上手な話の後でやりにくいんですけど

ども。

こちらの班ではいろいろ意見が出ました。いろんな立場の方からの御意見が聞けて
すごいい会議やと思います。私もそう思います。

それを踏まえて、よりよい大正区にしていきたいなという思いが皆さん強くありま
した。我々民意と行政の温度差というのが、それを埋められるすごいい会議なんじ
ゃないのかなと。もっともっと行政は民意に近づいてこられるのではないんでしょ
うか。

すごい意見があったのは、今後の小学校、中学校の在り方についてというのがあり
ました。メリット、デメリットを考えていってすごい意見やったんですけども。小学
校、中学校を1校にしようよとかね、スクールバスを大正区にぐるっと回らせて、大
正通り3車線あるんだから、そんなんでできるでしょうとかね。

さらにさらに、お年寄りの方への行政からの接触の仕方ですね。この人はこんな接
触の仕方のほうがいいんじゃないのみたいなこともあると思うんです。そういう意見
もありましたので、もっともっと民意の声を生かしていただければと思います。

やっぱり強かったのは、町会から地域住民への周知。やっぱり町会に加入してい
る方にしか周知がしにくいていうところですね。加入していない方へのアウトプット
の仕方が非常に難しい。役所から新転入された方にセットみたいのを渡されている
んでしょうけども、やっぱり見てない人は見てない。町会に加入も少ない。そうなっ
てくると、情報もいきにくいと思います。特に、防災・防犯に関わることが周知しに
くくなってきているので、もっともっと考えていかなければいけないなという意見が
多々ありました。区民にいかに情報を伝える、伝わるかを行政でもっと考えて実行し
てほしいという意見が強く出ました。

こちらでは以上です。ありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。それでは、グループ討議は終了ですので、議長、副議長、そして区役所職員は席にお戻りいただきますように、お願いいたします。

それでは、議長、お願いいたします。

○木幡議長

皆さん、ありがとうございました。私もグループ討議のところをつくづく感じたのは、皆さん、このまちのことが好きなんやなど、みんな大正区が好きなんやなどというのをすごくひしひしと感じましたし、この場からまた大正区がどんどん良くなっていくような議論が皆さんと交わせたらいいなというふうに感じました。ありがとうございます。

それでは、これにて議題2を終了させていただきます。

大変貴重な意見をいただいたと考えていますので、これらの御意見を新たな将来ビジョンの策定に生かしていただきたいと思いますと思っております。

本日、予定されております議題は以上で終了とさせていただきます。皆様には、議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。

○西尾区政企画担当課長

木幡議長、ありがとうございました。

それでは、私から事務連絡として、最後、書類番号7番を見ていただいでよろしいでしょうか。最後で申し訳ないです。

次回の区政会議開催に向けてのお願いということで、申し訳ないですが、書類番号7番です。これ、先ほど議論もいろいろとありましたけど、大正区をこれから元気なまちとして発展させていくため、この万博で盛り上がっている大阪、それを長い目で見たまちづくりの方向性を考えることが大切やと思っております。大正区将来ビジョンで施策の方向性とかをつくっていくのですけれども、もっとより具体的なまちの在り方というか、こんなまちやったらいいよねと。将来ビジョンは施策なんですけれども、もっとまちがこんなやったらええよねということをつくっていききたいというこ

とで考えています。万博の新しい動きを大正区の元気につなげることとか、この先も持続可能なまちとして将来の姿をはっきりさせることとか、大正区ならではの資源や強みを活かしてすてきな未来の暮らしを実現するようなまちづくりの戦略をつくることということで、来年度まちづくりビジョン（仮称）ではございますが、そういったものを皆さんと一緒につくっていきたいということを思っています。

そこで、最後、3の委員の皆様へのお願いでございます。まちづくりビジョンをつくる際に、地域に根差した大正区のよいところや魅力的なもの、ポジティブな情報をできるだけ集めて、こんなええことあるよね、だからこういう方向でいきましょうよということをやりたいなと思っています。

できたら、皆さん、そういったことを可能であれば20個以上、上限はございませんので、100個でも200個でも挙げていただくとありがたいと思います。1月20日（金）までにできたら提出いただけたらと思います。メールでも結構でございますし、何か大正区のええところを書いていただけたらなと思っています。冬休みの宿題で申し訳ございませんが、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日お渡しした議題については以上でございます。

最後、御意見シートございますので、本日の会議で発言できなかったこと、本日の議論を踏まえて改めて御意見とか御質問がございましたら御記入いただいて、1月9日（金）までに御提出をお願いしたいと思います。

それでは、本会議の結びに当たりまして、区長の村田より御挨拶させていただきますので、よろしく願いいたします。

○村田区長

皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございます。先ほど御意見の中で出てました、皆さんのいろんな人の意見を聞いてよかったという、そういう御意見もありましたし。それから、福祉、防災、地域での情報共有とか、いろんな御意見、活発な御意見があったんじゃないかなと。中には、今まであまり出たことのないような、行政

の横串を刺せという話があったんですけども、地域も含めて横串を刺すというのは、なかなか今までにはない御意見やったと思うし。もっと斬新やったんが、集約化を進めるという、なかなか今までにはなかったですね。そういう1校にするという御意見もあって、なかなか今まで御意見がなかったようなところもありました。ありがとうございました。

実を言うと「集合知」という言葉を御存じですかね。集合、集まるの集合、知識ですね。という言葉がございます。これ何かと言いますと、多くの人たちが持っている知識とか、経験とか考え方をみんなで集めて、一人では思いつかないようなすごいアイデア、答えというのをみつけるというのが「集合知」といいます。全世界的にやっているのが「ウィキペディア」というやつですね。そういうものが代表例なんですけれども。その知識、皆さんがうまくその「集合知」というのは、皆さんが出された知恵をうまく機能させるためには、いろんな考えや背景を持った人たちが集まること。今、まさに集まっています。そして、それぞれが自由に考えることを本当に考えていただいています。そして、情報がいろいろ分かれていること、いろんな情報が今集まってきたと思います。

そして、一番これ、肝心なんですけれども、みんなの意見をうまくまとめる仕組みがあること。これは行政がすべきことというふうに思います。こういう取組、皆さんと一緒にして、そして先ほど課長から申し上げたように、5年後、10年後の大正区のまちのグランドデザインを一緒に考えていければなというふうに思っています。

またもう一つ、難しい言葉を申し上げるんですけど、孔子の言葉。中国の昔の人で、孔子の言葉に『論語』っていう文章があるんです。その中に「近き者説び、遠き者来る」という。まさしく今、大正が好きですって議長がおっしゃいました。大正が好きな人たちばかり。大正のまちが楽しいよね、いいよねと思ったら、必ずや、人も増えてくると思います。外国からも人がたくさんいらっしゃるというふうに思います。そんな形でみんなでこの大正区のまちをより一層好きになって、すてきな未来を考え

られたらと。それはもちろん区役所も一緒です。一緒に考えられたらなというふうに
思います。

本日は、どうもありがとうございました。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして本日の区政会議を閉会とさせていただきます。

次回の区政会議は、2月19日（木）、19時より大正区民ホールにて開催予定に
なっていますので、御出席のほどよろしくお願いいたします。

また、お帰りの際は1階の玄関が閉まっておりますので、2階の玄関を御利用いた
だきますようよろしくお願いいたします。

本日は、どうも遅くまでありがとうございました。

—了—